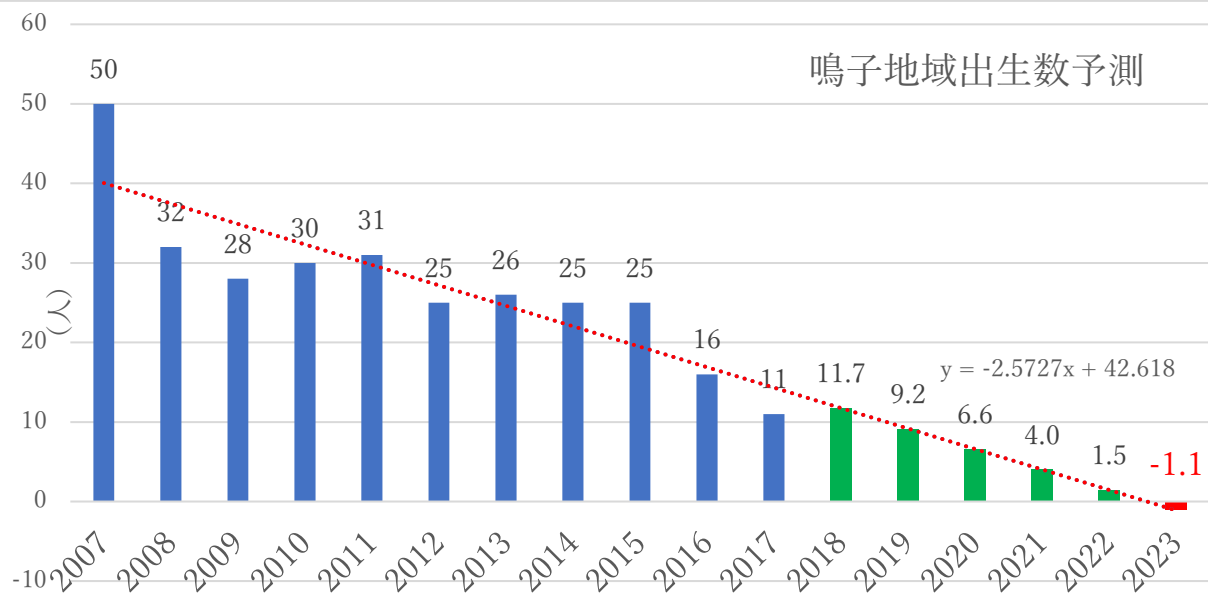


# 「鳴子こどものための総合計画」

教育を軸にした地域再生に向けての具体的提言

作成：カガモク





鳴子地域の出生数に関する単純な予測では、5年後に鳴子で生まれる子どもの数が0になります。さて、どうしましょう？

### 子どもを守ることが地域を守ること

地域社会の存続のために、**子どもへの投資を最優先事項**として計画を策定します。

子どもたちが鳴子で生まれてよかったと思えるように、鳴子で育ったことを誇りに思えるように。いま鳴子の子どものためにできる全てのことを考えます。その中からできることを実践し、それでもだめなら地域の存続を諦めます。

#### 考えたいこと

- ・子どものための環境整備
- ・子育て世代を対象にした移住政策
- ・鳴子のアドバンテージを活かす独自の教育ビジョン

鳴子地域は温泉や紅葉といった観光資源をはじめ、自然環境、農産物、森林資源や水源、地熱といったエネルギー資源など豊富な資源に恵まれた豊かな地域です。これらの資源をすべて教育資源だと考えたとき、鳴子以上に教育に適した地域はないと言っても過言ではありません。大都市にはない多くの資源に恵まれた鳴子という環境は、子どもたちにとって大きなアドバンテージなのです。少人数教育、これも考えようによっては立派なアドバンテージではないでしょうか？鳴子の人たちが都会の教育のあこがれるのではなく、都会の人たちが鳴子の教育にあこがれるような教育環境の実現を目指します。

## Ⅰ 鳴子再生教育ビジョン

### 『こころもからだもぬくぬく育つ、鳴子の温泉教育』

#### 理念

- ・ 鳴子を象徴する資源である「温泉」をはじめ、あらゆる地域資源を教育資源ととらえ、地域の特性を活かした鳴子ならではの教育環境を実現する
- ・ 鳴子の豊かさを通じて価値観や美意識、感受性を育て、その土地の持つ豊かさをこころの豊かさへとつなげられる人間に
- ・ 教育機関と地域住民との協働  
教育を学校任せにせず、地域全体で子どもたちを育てる意識を持つ
- ・ 地域の豊かさを子どもとおとなが一緒になって共感し、ともに成長し、地域で心豊かに暮らせる人材を育成する
- ・ 鳴子でしか受けられない教育を地域の新たな豊かさ、資源として磨き上げ、子育て世代の流入を促す

#### 政策

- ・ 地域内の児童の温泉入浴料無償化
- ・ 地域の特色に触れるための地域ぐるみでの課外活動の実施  
児童による温泉レポート企画  
児童のための観光ボランティア養成講座  
こけしクラブの復活
- ・ 自然体験学習の仕組み作り
- ・ 東北大学フィールドセンターとの連携強化
- ・ 少人数教育のメリットを最大限に引き出した地域に密着したふるさと教育を行う
- ・ 合同授業など、少人数教育のデメリットを補う対策の実施
- ・ 大崎市中心部との教育環境格差の是正
- ・ 子どもの居場所作り、公園等の安心して遊べる環境の整備
- ・ 公民館など生涯学習施設の充実化  
きょうどうとしょしつの運営、図書活動の推進
- ・ 子育て世代を呼び込む移住政策の実施
- ・ 山村留学の受け入れ

## 将来像

- ・ 鳴子でこころ豊かに暮らせる若者の増加  
⇒ 地元への定着率、Uターン率 ↑
- ・ 地域で育った子どもが全員温泉博士、鳴子の観光大使に  
⇒ 観光振興
- ・ 地域で育った人材と移住者など外部からの人材が一緒になって地域を盛り上げ、誰もがこころ豊かに暮らせる地域社会の実現

他の地域ではまねのできない鳴子独自の教育環境を地域の新たなブランドとして構築する。地域内での人材育成から後継者を育てるとともに子育て世代の流入を促進。教育政策と移住政策の2本柱で質の高い教育環境を整え、地域の子どもたちの未来を守ります。

## 理想の子ども像

### こけしの子

こけしは個性の象徴です。こけしは自然の中で育った木から作られます。鳴子ではミズキを中心にサクラやエンジュなど様々な樹種が使用されます。同じ樹種でも木目の違いなど、木そのものが個性豊かな素材と言えます。その個性豊かな素材を使用したこけしは、産地によって様々な系統に分化し、各系統の中でもさらに細分化されて最終的には工人の一人ひとりの手によってさらに個性が発展していきます。出来上がったこけしは一見同じように見えてもすべて違った個性を持って生まれてくるのです。そして、木という素材は磨くと光ります。きちんと手入れをしたこけしは時間とともに色つやや風合いを増し、さらに独特な個性を深めていくのです。こうしたことが、工場で大量生産された商品と違い、こけしが人を惹きつける最大の要因ではないでしょうか。こうした個性・魅力は自然の恵みを資源として人間の手によって手間と時間をかけることで作り出されるものです。決して大量生産ではできません。少量生産だからこそできることなのです。近代化が進む今だからこそ我々がこけしから学ぶ意義はますます大きくなるのではないのでしょうか。

鳴子の自然の恵みを享受しながら、人の手によってたくさんの手間と時間をかけて一人ひとりの大切な個性を育てていきます。自分の個性を磨き、互いの個性を尊重できる人間に。少子化が進み、限られた人数の中でよりよい関係を築くためには意見の違いや価値観の違いを乗り越えなければなりません。そのためには互いの個性を尊重し合うことが大切です。豊かな個性を身につけたものは地域社会の中で豊かな人間関係を築きます。地域を離れて新しい社会に飛び込むものは鳴子で身につけた個性が力強い武器になるはずです。

『少数精鋭、みんなそれぞれ個性豊かなこけしの子』

## Ⅱ 子どものための環境整備

### 小さな子どもが安全・安心に遊べる環境の整備

鳴子は子育て支援に力を入れている他の市町村に比べ、子どものための施設・設備が少ないのが現状です。特に乳幼児が安全・安心に遊べる場がほとんどありません。こうした環境を改善することが子育て世代の不安の解消にもつながるのではないのでしょうか。地域として子どもに投資するという姿勢を示すことが重要です。

#### ・新設される公民館に子どもスペースを設置

鳴子地域は豪雪地であり、小さな子どもの遊ぶ環境は冬場は特に制限されます。公共施設の中に居場所を設けることにより、雨天時や冬場でも外出できる環境や子ども同士、子育て家族同士が交流できる場を確保します。

#### ・こけし公園の整備

「地域の人も、観光客も、みんなが集まるこけし公園」  
鳴子らしさの象徴であるこけしをモチーフとした公園を整備し、子ども向け遊具、高齢者向けの健康遊具の設置を設置します。子ども向けだけでなく、健康遊具を設置すればヘルスツーリズムの一環として湯治客や高齢者が利用できる場としても活用。子ども～高齢者～観光客などとの交流が生まれる。

#### ・なるこきょうどうとしょしつの運営

なるこきょうどうとしょしつとは？

市民が主体的に鳴子で豊かに暮らすために必要な知識や情報とは何かを自らが考え、理想の図書室の在り方を検討し実現していく課題解決型の図書室を目指し、新設される公民館に設置されます。

子ども向けの蔵書の充実、読み聞かせや各種イベントの開催、大崎市図書館や学校図書室との連携を図り、子どものための読書環境を向上します。

長期ビジョン

きょうどうとしょしつの取り組みにより市民の地域づくりへの意識改革が進み、育成した人材が地域づくりの担い手として活躍し、地域課題の根本的解決を図る。協働による地域づくりの成功例として鳴子が大崎市を牽引する。

## III 移住政策

### 鳴子での移住政策の意義

鳴子でこころ豊かに暮らせる価値観を持つ人を積極的に受け入れる  
移住者の数ではなく質（価値観）を重要視

### 移住政策の方向性

短期目標 地域づくりの担い手、即戦力の確保  
長期目標 子育て世代の継続的な流入、地域社会の維持

地域内での出生数が激減している現在、長期的に地域社会を維持するためには子育て世代の流入が不可欠です。子どもの適正な教育環境を維持するために必要な最低限の児童数を移住者によって補います。子育て世代の流入を促進するためには、都会の人たちが鳴子で子育てさせたいと思えるような強力な動機が必要です。そのために重要なのが子どものための環境を整備することと、いかに魅力的な教育ビジョンを打ち出せるかということです。教育政策と移住政策は別個に議論されるものではなく、長期的なビジョンに基づいて総合的に議論されるべき事項です。

### 具体策

#### 「こけしとく〜らす」私設移住支援相談窓口の設置

大崎市は最大80kmにもおよぶ広大なまちであり、古川を拠点とした移住支援センターだけでは周辺の過疎地域への細やかな支援が困難である。実際の移住者であるサポーターが地域で相談窓口を立ち上げるによりよりきめの細かいサポートが可能になる。

#### 準喫茶カガモク内に設置

喫茶店という多くの人に開かれた環境を利用して、移住希望者が気軽に情報収集できる場を提供し、地域の住民に対しては市の支援制度の周知や空き家情報の提供を求める活動を行う。

#### 企画案

- ・ コーヒーとドーナツを飲食しながらの移住相談
- ・ 移住が決まった家族にはカガモクのこけし雑貨を一点プレゼント
- ・ 移住者へのインタビュー企画
- ・ 空き家提供意思表示カードの普及→参考資料

#### 地域（行政）への働きかけ

- ・ 移住者は川渡共同浴場初年度無料、源泉かけ流し温泉入り放題プランの提案
- ・ 鳴子地域専従の移住支援員（協力隊）の配置

## まとめ

少子化の進む鳴子の現状を客観的に把握し、この現状の中でも最大限に子どもたちが生き生きと成長できる環境を整えます。地域資源を教育資源として、最大限に活用できる教育ビジョンを策定します。魅力的な教育ビジョンによって子育て世代の流入を促進します。教育環境の充実に伴い地域内での出生数が回復します。地域社会が安定し、みんながこころ豊かに暮らせるまちが実現します。

### 鳴子再生の流れ

